

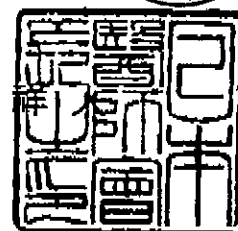
日医発 334 番 (総研発 32F)

平成 19 年 7 月 6 日

都道府県医師会長 殿

都市区医師会長 殿

日本医師会
会長 唐澤



平成 19 年度

医師会病院・民間病院等の建設セカンドオピニオン支援モデル制度
における申込者の募集について

拝 啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

医師会病院等の建設コスト削減や、運営に際して適切な建物を建設するためには、専門家による設計内容のチェックや建設費見積内容の査定等、専門的な第三者による「建設セカンドオピニオン」が大きく求められています。

日医総研では日医会員のご協力により、平成 15 年度よりケーススタディによる「建設セカンドオピニオン」の有効性とその方法論のあり方について、継続的に研究を行ってまいりました。

そこで、これら研究成果をふまえ、平成 19 年度より、新築や改修を計画或いは進めている医師会病院や民間の病院・診療所等を対象に、その「建設セカンドオピニオン」導入を支援するため、ケーススタディ研究を引き継ぐ「医師会病院・民間病院等の建設セカンドオピニオン支援モデル制度」を定め、その申込者の募集を行うことと致しました。

つきましては、別紙『医師会病院・民間病院等の建設セカンドオピニオン支援モデル制度』とは」及び、「日医総研 平成 19 年度 医師会病院・民間病院等の建設セカンドオピニオン支援モデル制度 一申込者募集のご案内」について、貴医師会会員の先生及び貴医師会の担当者の方々に、ご周知、ご案内頂きますようお願い申し上げます。

なお、申込については、別紙添付の「支援モデル制度申込書」に必要事項をご記入の上、日医総研宛 FAX にてお送り下さいますよう、お願い申し上げます。

「医師会病院・民間病院等の建設セカンドオピニオン支援モデル制度」とは

制度の目的

医師会病院や日医会員の病院・診療所等の建設コスト削減、及び運営に際して適切な建物を建設するためには、専門家による設計事務所対象の企画コンペ（競争）の実施や契約への助言等から始まって、設計図や改修計画のチェック及び見積書の査定、更には建設業者の入札方法への助言や建設現場での設計監理のチェック等、専門的な第三者による「建設セカンドオピニオン」が大きく求められています。

日医総研では日医会員や医師会のご協力により、平成15年度よりケーススタディによる「建設セカンドオピニオン」の有効性とその方法論のあり方について、継続的に研究を行い、その研究成果が実践の場に活用出来る状況となりました。

又この間日医会員より、ケーススタディを施設建設に合わせて継続したい、或いはケーススタディの対象でない施設の対応方法や、「建設セカンドオピニオン」を受ける一般的な費用を知りたい等といった、各種ニーズが明らかになり、これらへの対応も求められる状況となりました。

そこで、これまでの研究成果をふまえつつ、医師会や日医会員が病院や診療所等の新築・改修に際しての、「建設セカンドオピニオン」の導入を支援するために、「医師会病院・民間病院等の建設セカンドオピニオン支援モデル制度」（以下、「本モデル制度」）を設け、医師会や日医会員のご要望に対応することを目的としたものです。

制度の内容

① 募集対象・募集施設

- ・ 募集対象は、医師会・日医会員です。
- ・ 募集施設は、新築・改修を計画或いは進めている、診療所、病院、各種介護関連施設、医師会館、及び医師会の共同利用施設や教育・研修施設等です。

② 支援の内容・支援のケース

- ・ 支援の内容は、日医総研が進める建設セカンドオピニオンを導入する際、その費用の全額或いは費用の一部を支援するものです。したがって、医師会或いは日医会員は、日医総研が進める建設セカンドオピニオンを導入する際、その費用を全く負担することなく、或いは一部負担すること等によって、建設セカンドオピニオンの提供を受けることが出来ます。
- ・ 建設セカンドオピニオンの支援項目は、「A 設計事務所の企画コンペ実施・評価及び契約書チェックの支援」、「B 図面チェック及び建設業者の入札と契約書チェックの支援」、「C 見積査定の支援」の3項目が基本となります。（ページ5参照）

- ・ 支援のケースは、次の2つのケースがあり、各々工事額に応じた支援内容となっています。(ページ5～8参照)

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| I ケース | 設計事務所の選定の段階から支援する場合 |
| II ケース | 設計事務所の基本計画・基本設計・実施設計のチェックの段階から支援する場合 |

日医総研

平成19年度医師会病院・民間病院等の建設セカンドオピニオン支援モデル制度
～申込者募集のご案内～

日医総研では日医会員や医師会のご協力により、平成15年度よりケーススタディによる「建設セカンドオピニオン」の有効性とその方法論のあり方について、継続的に研究を行ってまいりました。

そこで、これら研究成果をふまえ、平成19年度より、新築や改修を計画或いは進めている医師会や日医会員の病院・診療所・各種介護関連施設・医師会館等を対象に、その「建設セカンドオピニオン」導入を支援するため、ケーススタディ研究を引き継ぐ「医師会病院・民間病院等の建設セカンドオピニオン支援モデル制度」(以下、「本支援モデル制度」)を設け、その申込者の募集を行うことと致しました。

ここで「建設セカンドオピニオン」とは、医師会病院等の建設コスト削減や建設後の運営が適切に行われる建物を実現するため、設計事務所の企画コンペ(競争)や契約への助言等から始まって、設計図や改修計画のチェック及び見積書の査定、更には建設業者の入札方法への助言や建設現場での設計監理のチェックまで、経験豊富な専門家が第三者の立場から意見を提出することによって、適正な建設費や新築・改修計画の実現に資することです。

「本支援モデル制度」に申込みをご希望の日医会員や医師会の方は、次の応募方法に従って日医総研までお申し込みください。ご応募多数の場合は、モデル制度を検証する視点から応募内容等を検討させて頂いた上で、支援対象を決定させていただきます。

なお、寄せられた情報は、日医総研の研究において、提供者の同意のもとに使用させていただきます。

応募者・募集対象施設・募集件数

1) 応募者

原則として日医会員或いは医師会です。

2) 募集対象施設

募集する対象施設は、医師会や日医会員の病院・診療所・各種介護関連施設や、医師会館及び医師会の共同利用施設、更には教育・研修施設等の新築或いは改修の場合で、次にお示しするような、A、B、Cの何れかの条件に該当する施設を対象とします。

ただし、工事請負業者が設計・施工を一体的に行う施設は、本支援モデル制度の対象とはしておりません。

3) 募集件数

募集する件数は、全体で15件程度を予定しています。

募集の対象となる施設の条件 (何れかに該当するもの)

- A 設計事務所の選定、企画コンペ募集及び契約段階
 - ① 設計事務所の選定、企画コンペ予定段階のもの
 - ② 設計事務所と今後建築設計・監理業務委託契約を結ぶ予定段階のもの
- B 基本計画・基本設計・実施設計及び入札段階
 - ① 設計事務所が、基本計画や基本設計図書の作成取りかかっている段階のもの
 - ② 設計事務所が、実施設計図書の作成に取りかかっている段階のもの
 - ③ 今後建設会社による入札を予定しているもの
- C 設計事務所見積書の査定段階
 - ① 設計事務所の実施設計に対応する見積書を査定する段階のもの

支援する建設セカンドオピニオンの内容

支援する建設セカンドオピニオンの内容は、基本的に上記A, B, Cの段階に対応した、下記のようなA, B, Cの分野から構成されます。

- A 設計事務所の企画コンペ実施・評価及び契約書チェック
 - 設計事務所の「企画コンペ募集・実施方法の助言」やその「評価」、及び「契約方法の助言」と資料提供
- B 図面チェック及び建設業者の入札と契約書チェック
 - 建設コスト削減や適正な運営を目指した、基本計画や基本設計・実施設計段階での「設計内容のチェック」や「建設コスト削減方法の提案」等
 - 「入札方法についての助言」等
- C 見積査定
 - 建設コスト削減を目指した「設計事務所による見積書の査定」と「予定価格の提案」等

支援のケースと内容

支援内容は、主に次のⅠケースとⅡケースの2つのケースがあり、各々工事額に応じた支援内容を考えています。(7ページ、8ページの表参照)

- Ⅰ ケース 設計事務所の選定・企画コンペ募集及び契約の段階(上記、施設条件のAの段階)から支援する場合
- Ⅱ ケース 設計事務所の基本計画・基本設計・実施設計のチェック及び入札の段階(上記、施設条件のBの段階)から支援する場合

次の2つの表は、日医会員向けのⅠケース及びⅡケースの支援対象と内容(グレーの部分)を示したものです。

その内容は、支援対象施設の建物のみ工事金額(上限値で、これ以下)毎に横の列を見て頂き、該当する全ての黒丸印(●)が無償による支援項目で、三角印(△)は会員が記してある費用を負担して頂く場合に支援する項目です。

また、バツ印(×)の項目は、費用がかなりかかることから、会員の全額費用負担が必要な建設セカンドオピニオンとして、参考までに示してあります。

なお、工事金額は目安となる金額を示しているもので、工事金額が各金額の中間にある場合の会員負担は、比例配分によって求めるものとします。

一方、医師会施設の場合は別途定め、申込後に日医総研よりご連絡します。

(日医会員施設用)

<I ケース 設計事務所の選定の段階から支援する場合>

工事額	建設セカンドオピニオンの支援の項目					
	A 設計事務所の コンペ実施・評価及び 契約書チェック ^(注2) の支援		B 図面チェック及び 建設業者の入札と 契約書チェック ^(注3) の支援		C 見積査定の支援	
	支援の内容	会員負担	支援の内容	会員負担	支援の内容	会員負担
1 億円以下	●	—	●	—	●	—
2 億円	●	—	●	—	△	70.0 万円
3 億円	●	—	●	—	△	120.0 万円
4 億円	●	—	●	—	×	
5 億円	●	—	●	—	×	
6 億円	●	—	△	50.0 万円	×	
7 億円	●	—	△	60.0 万円	×	
8 億円	●	—	△	70.0 万円	×	
9 億円	●	—	△	80.0 万円	×	
10 億円	●	—	△	90.0 万円	×	
20 億円	●	—	×		×	
30 億円	●	—	×		×	
40 億円	●	—	×		×	
50 億円	●	—	×		×	
60 億円	●	—	×		×	
70 億円	●	—	×		×	
80 億円	●	—	×		×	
90 億円	●	—	×		×	
100 億円	●	—	×		×	

注1:金額は消費税込み。

注2:設計事務所との契約書チェック。

注3:VE等見積書に対応した契約図面の修正箇所が明記されている場合は、建設業者との契約図面のチェックも含む。

<支援の内容>

●印/無償による支援

△印/会員の一部費用負担による支援

×印/会員の全額費用負担対象項目

—印/会員負担なし

(日医会員施設用)

＜Ⅱケース 設計事務所の基本計画・基本設計・実施設計の
チェックの段階から支援する場合＞

工事額	建設セカンドオピニオンの支援の項目			
	B 図面チェック及び 建設業者の入札と 契約書チェック ^(注2) の支援		C 見積査定の支援	
	支援の内容	会員負担	支援の内容	会員負担
1 億円以下	●	—	●	—
2 億円	●	—	△	20.0 万円
3 億円	●	—	△	70.0 万円
4 億円	●	—	△	140.0 万円
5 億円	●	—	△	190.0 万円
6 億円	●	—	△	240.0 万円
7 億円	●	—	△	290.0 万円
8 億円	●	—	×	
9 億円	●	—	×	
10 億円	●	—	×	
20 億円	△	130.0 万円	×	
30 億円	△	240.0 万円	×	
40 億円	△	350.0 万円	×	
50 億円	△	450.0 万円	×	
60 億円	△	550.0 万円	×	
70 億円	△	640.0 万円	×	
80 億円	△	730.0 万円	×	
90 億円	△	820.0 万円	×	
100 億円	△	900.0 万円	×	

注1:金額は消費税込み。

注2:VE等見積書に対応した契約図面の修正箇所が明記されている場合は、建設業者との契約図面のチェックも含む。

＜支援の内容＞

●印／無償による支援

△印／会員の一部費用負担による支援

×印／会員の全額費用負担対象項目

—印／会員負担なし

受付期間・選定結果の連絡期日

- 受付期間／平成19年7月9日(月)～10月31日(水)
- 選定結果の連絡期日／受け付け開始から平成19年11月14日(水)までに順次ご連絡します。

実施期間

実施期間は、応募して頂いた案件の支援内容により適宜定めます。

その他応募に伴う費用

「建設セカンドオピニオン」を検討するための、仕様書・設計図書等の資料のコピー(通常6部)については、申込者の負担とします。

応募方法

1. 申込者は、次のような要件を申込用紙(6ページ～9ページ)に記入し、日医総研ファクシミリ(FAX)でお申し込みください。
 - ・ 氏名(本件にかかる医療機関の責任者)、連絡先住所・電話番号・FAX番号
 - ・ 所属機関名、役職名、所属医師会名
 - ・ 申込施設
 - ・ 申込ケース
 - ・ 申請する施設の概要(申込用紙の書式に記入)。
2. 申込み方法
 - ・ 上記の事項を添付の申込用紙に明記の上、ファクシミリで日医総研お申し込みください。
 - FAX番号: 03-3946-2138
 - 日医総研「医師会病院等の建設セカンドオピニオン」担当 畑仲卓司
3. 締切り
 - ・ 平成19年10月31日(水)まで必着
4. 選定結果のご連絡
 - ・ 平成19年11月14日(水)までに、順次選定結果をご連絡申し上げます。
5. 連絡先
 - ・ 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日医会館内
 - 日医総研「医師会病院等の建設セカンドオピニオン」担当 畑仲卓司
 - 電話番号: 03-3942-6472

建設セカンドオピニオンの経過及び結果の取扱

建設セカンドオピニオンの経過及び結果については、申込者と協議の上、日医総研の研究報告書や日本病院管理学会等の発表論文等の中に、原則として匿名の形で整理掲載させていただきます。

FAX 03-3946-2138

申込用紙 1 / 4

日本医師会総合政策研究機構 行き
(日医総研)

平成19年 月 日

医師会病院・民間病院等の建設セカンドオピニオン支援モデル制度**支援モデル制度申込書**

申込者氏名: _____ (日医会員)
 所属医師会名: _____ 都道府県 _____ 医師会員
 連絡先住所: 郵便番号 _____

連絡先電話番号: _____
 所属機関名: _____
 役職名: _____

申込施設 (何れかに○印):

1 日医会員施設 2 医師会施設 3 その他 (_____)

申込ケース (何れかに○印):

I ケース 設計事務所の選定・企画コンペ募集及び契約の段階から支援する
 場合

II ケース 設計事務所の基本計画・基本設計・実施設計のチェックの段階
 から支援する場合

下記の添付用紙の項目に、記入可能な事項をご記入の上、FAXして下さい。

1 新築・改修予定施設の名称	_____
2 建築主(個人の場合は、代表者名等にご記入下さい)	医療法人名等 _____ 代表者名等 _____
3 建築主の住所	_____ 都道府県 _____ 市区町村 _____
4 担当者名・連絡先	担当者名 _____ 電話番号 _____
5 建築予定地	_____
5-1 敷地住所	_____ 都道府県 _____ 市区町村 _____
5-2 敷地面積	_____ m ²

申込用紙 2 / 4

6 建築概要

6-1 建築規模(併設施設を含む該当数値を下線部に(以下同様)記入して下さい)

地上____階 地下____階 建築面積____㎡ 延べ床面積____㎡

6-2 工事種別と構造種別(該当するものに○をつけて下さい。その他の場合は具体的に記入して下さい(以下同様))

工事種別/新築 改修 その他(_____)

構造種別/木造 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄骨造 コンクリートブロック造
その他(_____)

6-3 住宅・店舗等その他併設施設がある場合(施設の種類と規模を記入して下さい)

併設施設の種類 _____ 併設施設の延べ床面積 _____㎡

6-4 設計・建設形態(該当するものに○をつけて下さい。設計には改修計画を含む)

設計・施工一括発注 設計と施工の分離発注 その他(_____)

6-5 設計事務所の名称(設計・施工の分離発注の場合記入して下さい)

6-6 建設会社の名称(設計・施工の一括発注の場合記入して下さい)

7 医療機能等

7-1 医療機関等の種類(該当するものに○をつけて下さい。病床がある場合病床数を記入して下さい。その他の場合は具体的施設名を記入して下さい)

無床診療所 有床診療所(_____床) 病院(_____床)

介護老人保健施設(_____床) その他(_____)

7-2 診療科目(施設に整備する予定の診療科目に全て○をつけて下さい。その他の場合は具体的診療科名を記入して下さい。該当するものがない場合は記入しないで結構です)

内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科

泌尿器科 産婦人科 小児科 皮膚科 リハビリテーション科 神経科 精神科

呼吸器科 消化器科 循環器科 放射線科 その他(_____)

申込用紙 3/4

8 応募した案件はどの募集対象条件に該当しますか。(応募した案件が、該当すると考えられる募集対象条件に○をつけて下さい。)

- A 設計事務所の企画コンペ募集及び契約段階
 B 基本計画・基本設計・実施設計及び入札段階
 C 設計事務所見積書の査定段階

9 設計業務の進捗状況

8-1 基本設計業務の進捗状況(該当するものに○をつけて下さい。設計中の場合完了予定時期を記入して下さい)

設計未着手 設計完了 設計中(完了予定時期 平成____年____月____日)

8-2 実施設計業務の進捗状況(該当するものに○をつけて下さい。設計中の場合完了予定時期を記入して下さい)

設計未着手 設計完了 設計中(完了予定時期 平成____年____月____日)

10 建設業者の選定・進捗状況

10-1 建設業者への発注予定形態(該当するものに○をつけて下さい。特命随意契約以外の場合、参加業者数を<>内に記入して下さい)

入札 特命随意契約 見積合せ <____社>

10-2 建設業者の入札、或いは建設業者からの見積提出状況(該当するものに○をつけて下さい。入札予定或いは見積書提出予定の場合は、その予定時期を記入して下さい。入札済み或いは見積書提出済の場合、最低価格と提出会社名を記入して下さい)

入札・見積書提出済 入札・見積書提出予定(提出予定時期 平成____年____月____日)

最低価格____億____万円(提出会社名/____)

10-3 建設業者との契約状況(契約予定の場合、その予定時期を記入して下さい)

契約済 契約予定(平成____年____月____日)

11 建築予定時期と建築予算

11-1 建築工事の予定期間(着工予定日～竣工予定日)

平成____年____月____日～平成____年____月____日

11-2 建築予算(医療用設備・家具備品等を除く、上記見積に対応したもの)

____億____万円

12 開業予定日

平成____年____月____日

13 建設セカンドオピニオンを検討することについて、関係者に説明をしていますか。(該当するものに○をつけて下さい。その他の場合は、カッコ内に内容を記入して下さい)

設計事務所/説明済 今後説明予定 その他(____)

建設会社/説明済 今後説明予定 その他(____)

申込用紙 4 / 4

14 本支援モデル制度に応募した理由・目的

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. A vertical margin line is present on the left side, creating a narrow left margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled sheet of paper. There are no markings, text, or drawings on the page.